

議事録

1. 件名：「核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に係る影響評価手法の精緻化(その2)」に係る打合せ
2. 日時： 令和2年6月11日(木) 17:30～18:30
3. 場所： 原子力規制庁 会議室(web 会議)
4. 出席者： 原子力規制庁
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門
大橋首席技術研究調査官、日比野統括技術研究調査官、北村主任技術研究調査官、永井技術研究調査官、澁谷技術参与

三菱重工業株式会社
パワードメイン 原子力事業部 機器設計部 主席 他5名
5. 要旨：
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に対する構造健全性評価手法の適用性を確認するため、核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に係る安全研究を、平成29年度から令和2年度にかけて計画し、実施している。当部門では、本安全研究の一環として、三菱重工業株式会社と請負契約を締結し、「令和2年度核燃料輸送容器のスラップダウン落下試験に係る影響評価手法の精緻化(その2)」事業を実施している。
当事業に係る第1回打合せを実施した。内容は下記のとおり。
 - ① ボルト材引張試験の試験要領、試験ケース、計測手法、作業工程等について確認した。
 - ② パラメータスタディ解析の解析条件について、評価モデル、木材補正係数、材料モデル、減衰等について確認した。また、今後の工程について確認した。
 - ③ 次回の打合せを6月末頃実施することとした。
6. その他
特になし